

# 県内企業の景況意識調査

(第176回)

- \* 2021年 1～3月期〈Ⅰ期〉の実績見込み
- \* 2021年 4～6月期〈Ⅱ期〉の見通し

## 新型コロナウイルス感染症の再拡大で大幅な悪化

今期（2021年1～3月期〈Ⅰ期〉）の業況判断BSIは、前期比30.9ポイント低下の▲36.9となった。業種別のBSIは、『建設業』『製造業』『卸・小売業』『金融・不動産業』『運輸業』『サービス業』の6業種全てで悪化した。

新型コロナウイルス感染症の再拡大とGo Toトラベルの一時停止により、観光関連サービス業や食料品製造業、一般小売業などで大幅な悪化となった。

来期（2021年4～6月期〈Ⅱ期〉）の業況判断BSIは、今期比21.6ポイント上昇の▲15.3となる見通し。業種別のBSIは、『製造業』『卸・小売業』『金融・不動産業』『運輸業』『サービス業』の5業種で改善し、『建設業』で悪化する見通しである。

来期は感染拡大のペースが今期よりも落ち着いているとの見方から、サービス業を中心に改善する見通しである。製造業では海外経済の持ち直しや半導体需要の回復による受注増を見込む企業もみられた。

### \*2021年 1～3月期〈Ⅰ期〉の実績見込み

- 製造業……………3期ぶりに悪化
- 卸・小売業……………卸売業は僅かに改善、小売業は悪化
- 建設業……………3期ぶりに悪化
- サービス業……………3期ぶりに悪化

## 新型コロナウイルス感染症の再拡大で大幅な悪化

### ◎業況判断

【今期】(2021年1～3月期〈I期〉)

業況判断BSI：▲36.9 (前期比▲30.9<sup>㊦</sup>)

＜内訳＞

- ・よくなった 9.9% (前期比▲13.5<sup>㊦</sup>)
- ・悪くなった 46.8% (前期比+17.4<sup>㊦</sup>)
- ・変わらない 43.3% (前期比▲3.9<sup>㊦</sup>)

＜業種別＞

- ・前期比悪化：6業種全て(『建設業』『製造業』『卸・小売業』『金融・不動産業』『運輸業』『サービス業])

新型コロナウイルス感染症の再拡大とGo Toトラベルの一時停止により、観光関連サービス業や食料品製造業、一般小売業などで大幅な悪化となった。

来期は感染拡大のペースが今期よりも落ち着いているとの見方から、サービス業を中心に改善する見通しである。製造業では海外経済の持ち直しや半導体需要の回復による受注増を見込む企業もみられた。

【来期】(2021年4～6月期〈II期〉)

業況判断BSI：▲15.3 (今期比+21.6<sup>㊦</sup>)

＜内訳＞

- ・よくなる 17.2% (今期比+7.3<sup>㊦</sup>)
- ・悪くなる 32.5% (今期比▲14.3<sup>㊦</sup>)
- ・変わらない 50.2% (今期比+6.9<sup>㊦</sup>)

＜業種別＞

- ・今期比改善：5業種(『製造業』『卸・小売業』『金融・不動産業』『運輸業』『サービス業])
- ・今期比悪化：1業種(『建設業])
- ・今期比不変：なし

### ◎売上高と収益

【今期】

売上高BSI：▲38.8 (前期比▲29.5<sup>㊦</sup>)

5業種で悪化

収益BSI：▲35.6 (前期比▲25.8<sup>㊦</sup>)

5業種で悪化

【来期】

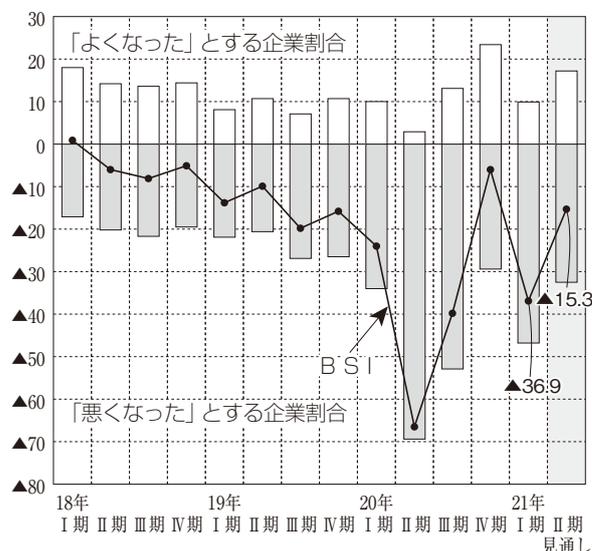
売上高BSI：▲15.9 (今期比+22.9<sup>㊦</sup>)

5業種で改善見通し

収益BSI：▲16.9 (今期比+18.7<sup>㊦</sup>)

5業種で改善見通し

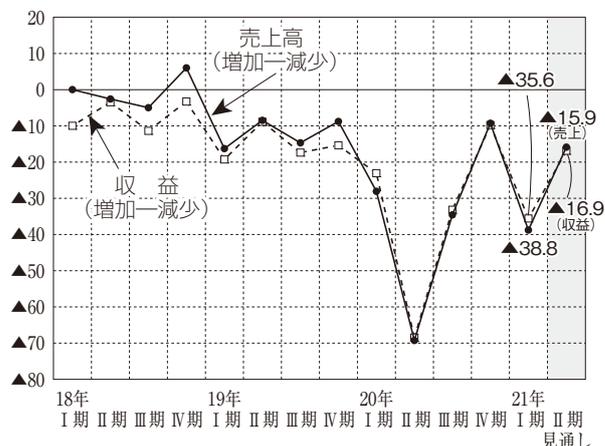
業況判断 ( B S I )



業況判断指数内訳 ( B S I )

	2020年 III期	2020年 IV期	2021年 I期	2021年 II期見通し
建設業	▲31.9	▲11.1	▲21.5	▲28.6
製造業	▲34.3	▲7.2	▲30.8	▲4.6
卸・小売業	▲46.0	▲31.1	▲46.5	▲26.8
金融・不動産業	▲42.8	14.3	▲44.4	▲33.3
運輸業	▲64.3	12.5	▲7.7	0.0
サービス業	▲37.5	25.7	▲56.2	▲6.3
全産業	▲39.8	▲6.0	▲36.9	▲15.3

売上高と収益 ( B S I )



## ◎所定外労働時間と雇用者数の現状

### 【今期】

所定外労働時間 B S I : ▲18.7 (前期比▲ 6.0ポイント)  
4業種で低下

雇用者数の現状 B S I : ▲25.0 (前期比▲ 8.9ポイント)  
5業種で低下

### 【来期】

所定外労働時間 B S I : ▲14.1 (今期比+ 4.6ポイント)

## ◎経営上の問題点

- 1位:「売上不振」(50.8%)
- 2位:「人手不足」(13.2%)
- 3位:「人材不足」(9.6%)
- 4位:「競争激化」(7.1%)
- 5位:「単価低下」(5.1%)

業種別にみると、「売上不振」と回答した割合は『卸・小売業』が61.5%、『サービス業』が61.3%と特に高い。「人手不足」は『建設業』で28.6%と最も高くなっている。

「売上不振」の割合は前期比6.5ポイント上昇し、2期ぶりに半数を超えた。

## ◎設備投資実施割合

### 【今期】

実施企業の割合: 33.8% (前期比▲ 1.1ポイント)  
3業種で低下

<投資目的>

- 1位:「補修・更新」(59.7%)
- 2位:「生産能力の拡大・売上増加」(14.9%)
- 3位:「合理化・省力化」(13.4%)
- 3位:「新製品生産」(4.5%)

### 【来期】

実施予定企業の割合: 35.8% (今期比+ 2.0ポイント)  
2業種で上昇見通し

<投資目的>

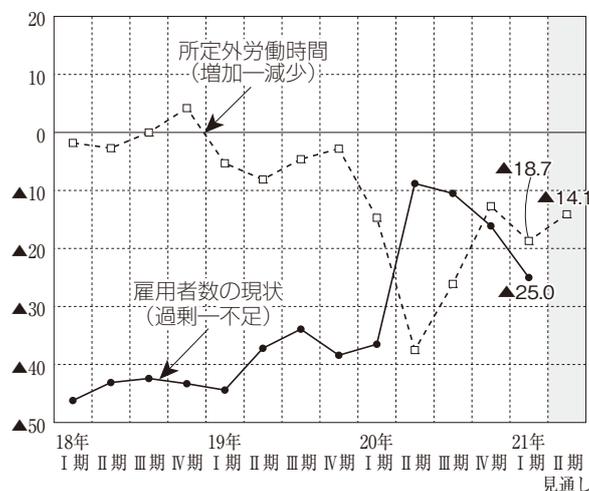
- 1位:「補修・更新」(61.4%)
- 2位:「生産能力の拡大・売上増加」(14.3%)
- 3位:「合理化・省力化」(12.9%)

## ◎「令和3年度(2021年度)の採用予定」について

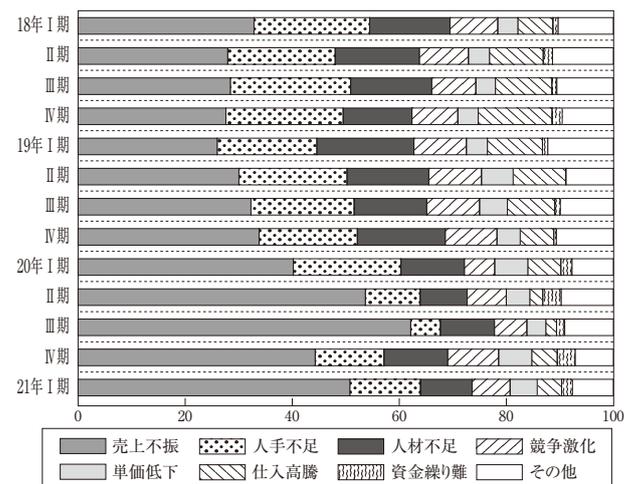
今回の調査において、「令和3年度(2021年度)の採用予定」について尋ねたところ、「新規卒業者を採用する」が33.5%、「中途採用を予定している」が21.0%、「採用しない」が26.0%、「未定」が19.5%となった。

1年前に調査した「令和2年度(2020年度)の採用予定」と比較して、「新規卒業者を採用する」が2.3ポイント減少し、「中途採用を予定している」が6.5ポイント減少した一方、「未定」が7.6ポイント増加した。

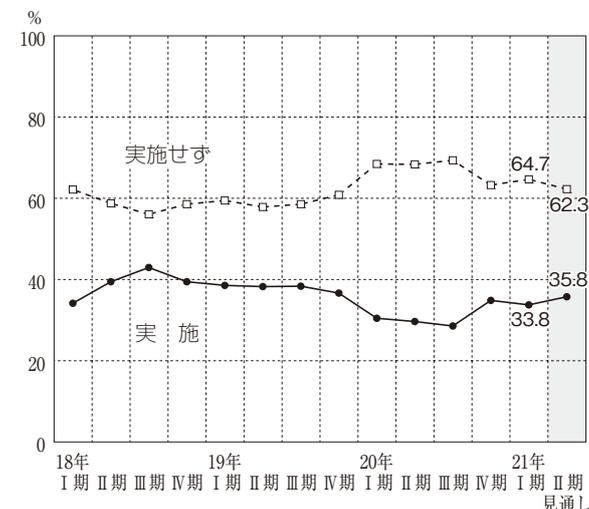
所定外労働時間と雇用者数の現状 ( B S I )



経営上の問題点 (%)



設備投資実施割合



## 3期ぶりに悪化

### ◎業況判断

【今期】(2021年1～3月期〈I期〉)

業況判断BSI：▲30.8 (前期比▲23.6㊦)

＜内訳＞

- ・よくなった 13.8% (前期比▲11.9㊦)
- ・悪くなった 44.6% (前期比+11.7㊦)
- ・変わらない 41.5% (前期比+0.1㊦)

＜業種別＞

- ・前期比改善：2業種(「鉄・非鉄・金属」「機械」)
- ・前期比悪化：5業種(「食料品」「木材・家具」「印刷・出版」「窯業・土石」「その他」)
- ・前期比不変：1業種(「化学・石油」)

半導体関連の「機械」など改善した業種もあったが、新型コロナウイルス感染症の再拡大に伴う食料品の落ち込みが激しく、全体としては大幅な悪化となった。

【来期】(2021年4～6月期〈II期〉)

業況判断BSI：▲4.6 (今期比+26.2㊦)

＜内訳＞

- ・よくなる 20.0% (今期比+6.2㊦)
- ・悪くなる 24.6% (今期比▲20.0㊦)
- ・変わらない 55.4% (今期比+13.9㊦)

＜業種別＞

- ・今期比改善：5業種(「機械」「食料品」「木材・家具」「印刷・出版」「その他」)
- ・今期比悪化：なし
- ・今期比不変：3業種(「化学・石油」「鉄・非鉄・金属」「窯業・土石」)

内訳では「変わらない」との回答が過半数を占め、回復の見通しが立たないとの声も聞かれたが、感染症の拡大ペースが緩やかになるとの予想から来期の業況判断BSIは今期よりも改善する見通しである。

### ◎売上高と収益

【今期】

売上高BSI：▲34.4 (前期比▲17.5㊦)

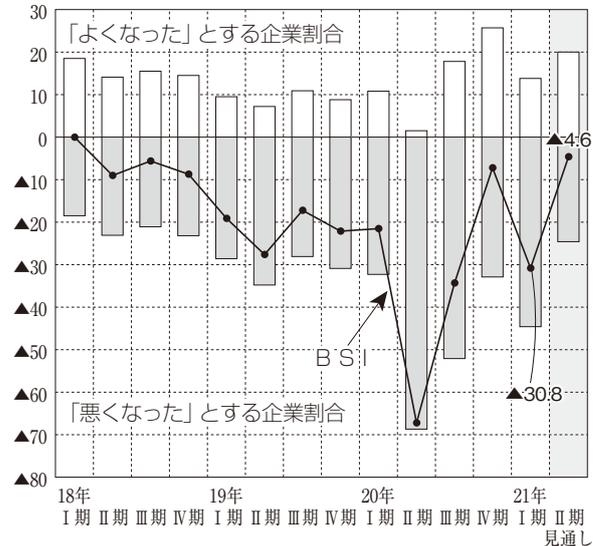
収益BSI：▲30.8 (前期比▲5.1㊦)

【来期】

売上高BSI：▲10.7 (今期比+23.7㊦)

収益BSI：▲10.7 (今期比+20.1㊦)

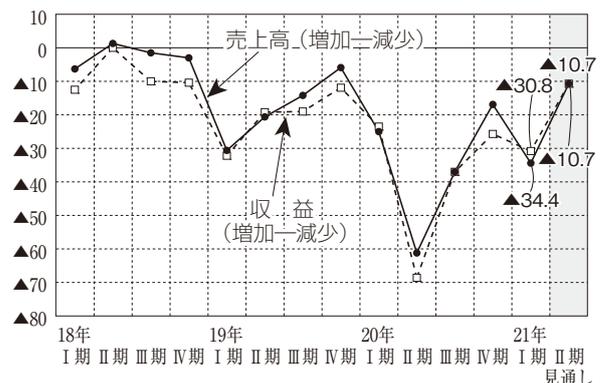
業況判断 ( B S I )



業況判断指数内訳 ( B S I )

	2020年 Ⅲ期	2020年 Ⅳ期	2021年 Ⅰ期	2021年 Ⅱ期見通し
化学・石油	▲50.0	0.0	0.0	0.0
鉄・非鉄・金属	10.0	30.0	40.0	40.0
機 械	▲45.0	▲19.1	▲5.6	5.5
食 料 品	▲25.0	▲10.0	▲84.6	0.0
木材・家具	▲71.4	0.0	▲14.3	0.0
印刷・出版	▲42.8	▲50.0	▲66.7	▲50.0
窯業・土石	0.0	25.0	0.0	0.0
そ の 他	▲37.5	▲14.3	▲62.5	▲37.5
製 造 業	▲34.3	▲7.2	▲30.8	▲4.6

売上高と収益 ( B S I )



## 卸売業は僅かに改善、小売業は悪化

## ◎業況判断

【今期】(2021年1～3月期〈I期〉)

『卸売業』

業況判断BSI：▲46.2(前期比+2.0㊦)

&lt;内訳&gt;

- ・よくなった 11.5%(前期比+0.4㊦)
- ・悪くなった 57.7%(前期比▲1.6㊦)
- ・変わらない 30.8%(前期比+1.2㊦)

『小売業』

業況判断BSI：▲46.6(前期比▲30.5㊦)

&lt;内訳&gt;

- ・よくなった 6.7%(前期比▲12.7㊦)
- ・悪くなった 53.3%(前期比+17.8㊦)
- ・変わらない 40.0%(前期比▲5.2㊦)

新型コロナウイルス感染症の再拡大の影響で1月は外出自粛の動きが強まり来店客数が減少し、小売業では業況が大幅に悪化した。

【来期】(2021年4～6月期〈II期〉)

『卸売業』

業況判断BSI：▲30.8(今期比+15.4㊦)

『小売業』

業況判断BSI：▲23.3(今期比+23.3㊦)

緊急事態宣言が解除されれば、外出自粛の緩和や消費マインドの持ち直しが期待されることから、業況の改善を予想する企業が多くみられた。

## ◎卸売業：売上高と収益

【今期】

売上高BSI：▲53.9(前期比+1.7㊦)

収益BSI：▲50.0(前期比+9.3㊦)

【来期】

売上高BSI：▲28.0(今期比+25.9㊦)

収益BSI：▲36.0(今期比+14.0㊦)

## ◎小売業：売上高と収益

【今期】

売上高BSI：▲50.0(前期比▲30.7㊦)

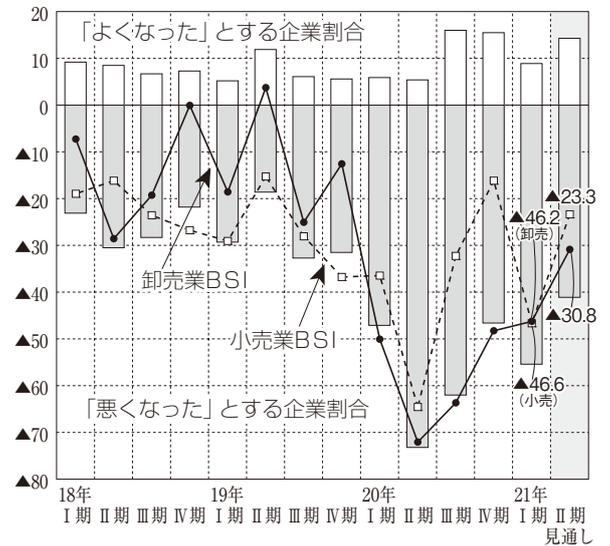
収益BSI：▲43.3(前期比▲40.1㊦)

【来期】

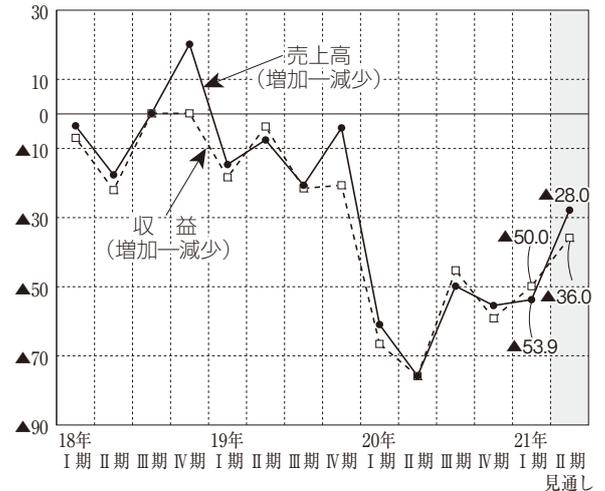
売上高BSI：▲26.7(今期比+23.3㊦)

収益BSI：▲26.6(今期比+16.7㊦)

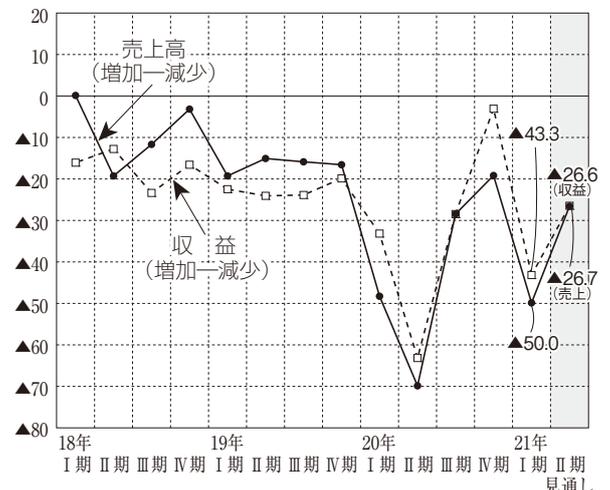
業況判断(BSI)



【卸売業】売上高と収益(BSI)



【小売業】売上高と収益(BSI)



## 3期ぶりに悪化

### ◎業況判断

【今期】(2021年1～3月期〈I期〉)

業況判断BSI：▲21.5 (前期比▲10.4㊦)

<内訳>

- ・よくなった 7.1% (前期比+ 3.4㊦)
- ・悪くなった 28.6% (前期比+13.8㊦)
- ・変わらない 64.3% (前期比▲17.2㊦)

今期の業況判断BSIは3期ぶりに悪化した。設備投資の需要減少に伴い工事受注が減少したとの声も聞かれ、業況悪化と判断する企業が増加している。

【来期】(2021年4～6月期〈II期〉)

業況判断BSI：▲28.6 (今期比▲ 7.1㊦)

<内訳>

- ・よくなる 7.1% (今期比± 0.0㊦)
- ・悪くなる 35.7% (今期比+ 7.1㊦)
- ・変わらない 57.1% (今期比▲ 7.2㊦)

来期の業況は今期と「変わらない」との回答が多いものの、2021年度の公共工事減少を懸念する企業もあり、業況判断BSIは悪化する見通しとなっている。

### ◎売上高と収益

【今期】

売上高BSI：▲ 7.4 (前期比+11.1㊦)

収益BSI：▲ 7.4 (前期比▲ 3.7㊦)

【来期】

売上高BSI：▲18.5 (今期比▲11.1㊦)

収益BSI：▲25.9 (今期比▲18.5㊦)

### ◎所定外労働時間と雇用者数の現状

【今期】

所定外労働時間BSI：▲ 3.6 (前期比+18.6㊦)

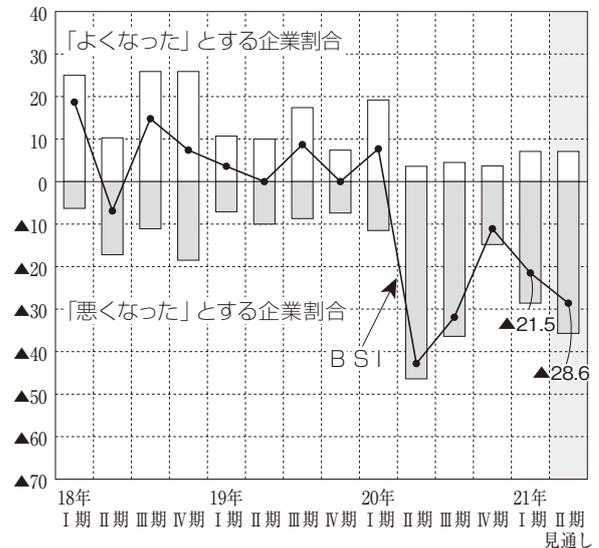
雇用者数の現状BSI：▲50.0 (前期比▲ 5.6㊦)

所定外労働時間が「増加した」と回答する企業が増え、所定外労働時間BSIは前期から上昇した。

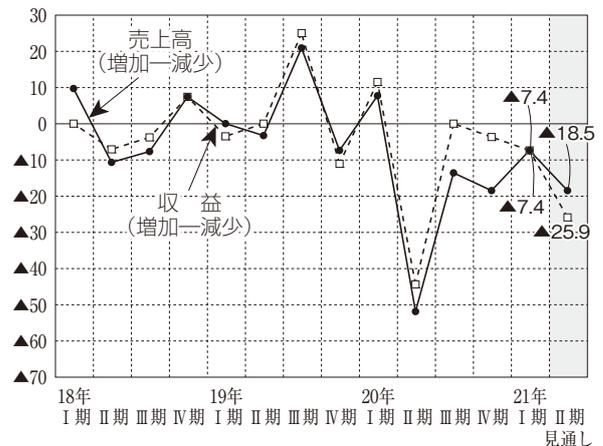
【来期】

所定外労働時間BSI：▲32.1 (今期比▲28.5㊦)

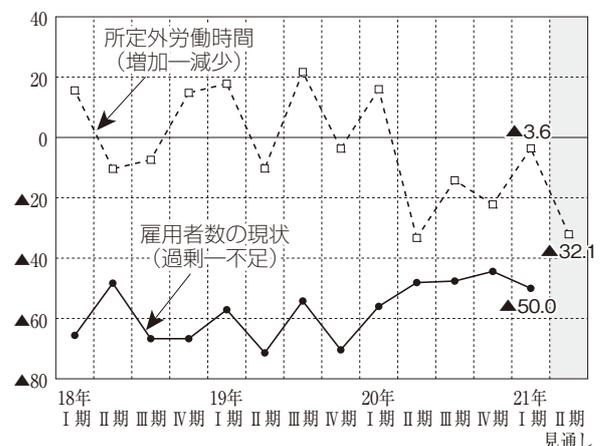
業況判断 ( B S I )



売上高と収益 ( B S I )



所定外労働時間と雇用者数の現状 ( B S I )



## 3期ぶりに悪化

### ◎業況判断

【今期】(2021年1～3月期〈I期〉)

業況判断BSI : ▲56.2 (前期比▲81.9ポイント)

＜内訳＞

- ・よくなった 6.3% (前期比▲42.3ポイント)
- ・悪くなった 62.5% (前期比+39.6ポイント)
- ・変わらない 31.3% (前期比+ 2.7ポイント)

サービス業のうち観光関連の17社では、「よくなった」と回答した企業はなく(前期比70.6ポイント減)、「悪くなった」と回答した企業は同64.7ポイント増の88.2%だった。観光関連以外(15社)では、「よくなった」と回答した企業が13.3%、「悪くなった」と回答した企業が33.3%だった。Go To Travelの一時停止、1月における緊急事態宣言の発出により観光客が減少しており、ホテル・旅館、レジャー施設を中心に大幅に悪化した。

【来期】(2021年4～6月期〈II期〉)

業況判断BSI : ▲ 6.3 (今期比+49.9ポイント)

＜内訳＞

- ・よくなる 28.1% (今期比+21.8ポイント)
- ・悪くなる 34.4% (今期比▲28.1ポイント)
- ・変わらない 37.5% (今期比+ 6.2ポイント)

### ◎売上高と収益

【今期】

売上高BSI : ▲56.2 (前期比▲ 96.2ポイント)

収益BSI : ▲59.4 (前期比▲102.2ポイント)

【来期】

売上高BSI : ▲12.5 (今期比+ 43.7ポイント)

収益BSI : ▲ 6.2 (今期比+ 53.2ポイント)

### ◎所定外労働時間と雇用者数の現状

【今期】

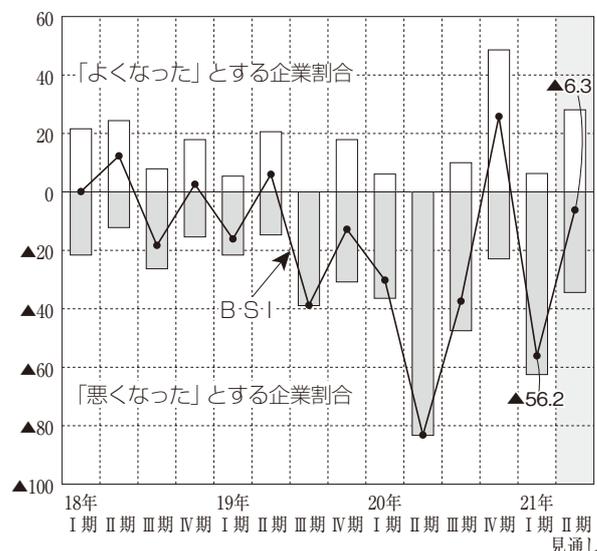
所定外労働時間BSI : ▲43.8 (前期比▲49.5ポイント)

雇用者数の現状BSI : ± 0.0 (前期比+28.6ポイント)

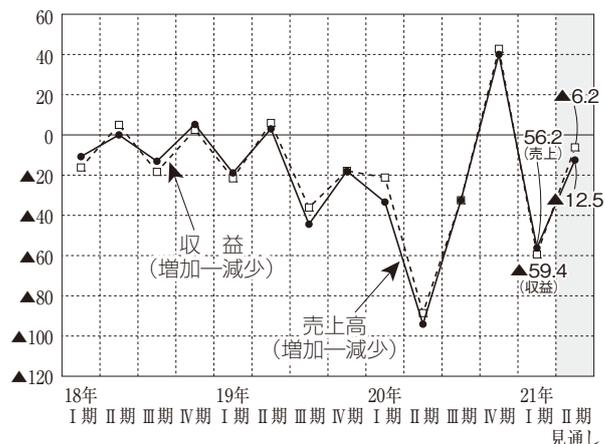
【来期】

所定外労働時間BSI : ▲ 9.4 (今期比+34.4ポイント)

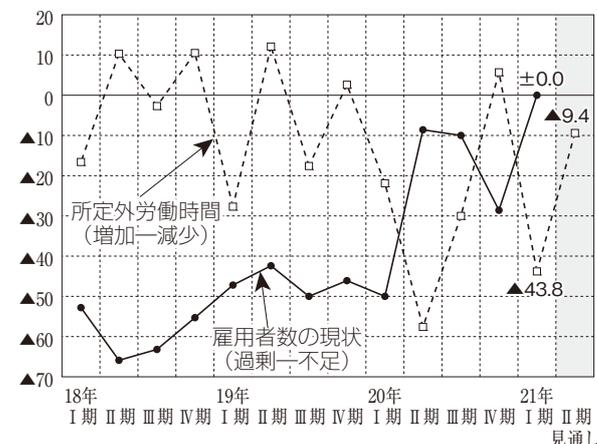
業況判断 ( B S I )



売上高と収益 ( B S I )



所定外労働時間と雇用者数の現状 ( B S I )



## BSIとは

BSIとは“Business Survey Index”の略

企業経営者の業況に関する判断や景気見通しを“よくなる・よくなった”、“変わらない”、“悪くなる・悪くなった”という3つの形式で回答を求め、これを数値であらわしたものである。

BSIは次の数式で求められる。

①[よくなる]+[変わらない]+[悪くなる]=100%とする

②[変わらない]の回答分を除く

③  $BSI = [よくなる] - [悪くなる]$

BSIが前期を上回れば景気は改善、前期を下回れば悪化という見方をする。

## 調査の概要

当調査は、大銀経済経営研究所、大分信用金庫、大分県産業創造機構の三者合同によるアンケート調査である。

◎調査時点 2021年2月20日

◎調査の内容

- ・自社の景況の実績と見通し
- ・売上高と収益の実績と見通し
- ・設備投資実施割合
- ・経営上の問題点など

◎調査対象

- ・県内に本社または出先事業所を有する企業433社

◎回答企業数 204社

・回答率 47.1%

・規模別割合

資本金1千万円未満・個人	9.8%
資本金1千万円～1億円未満	62.2%
資本金1億円以上	16.7%
無回答	11.3%

おおいたの経済と経営 NO.367 4月号付録 2021年3月25日発行（毎月1回25日発行）

発行所 株式会社大銀経済経営研究所 〒870-0035 大分市中央町2丁目9番22号 大分中央町ビルディング7階  
TEL (097) 533-8111 編集発行人 衛藤 健 印刷所 佐伯印刷株式会社